

平成 25 年 5 月 9 日

報道機関 各位

総務部 総合政策室長

「平成 24 年度 部局マネジメント方針」の成果報告及び
「平成 25 年度 部局マネジメント方針」の公表について

このたび、平成 24 年度部局マネジメント方針の成果報告及び平成 25 年度部局マネジメント方針をまとめましたので、お知らせします。

部局マネジメント方針は、市長と各部局長が政策協議を行い、部局の重点項目や課題への対応方針、年度内に達成すべき具体的な取組内容を定めるものです。成果を重視した効率的な行政運営を推進することを目的としており、年度の当初に作成・公表し、年度終了後に、その達成度を評価・公表することとしています。

平成 24 年度の実績は、総項目数 221 のうち、143 項目について概ね達成しました。また、平成 25 年度方針では、各部局における「基本方針」、「組織目標」、「行動目標」を具体的にまとめました。

詳細は、別添「平成 24 年度 部局マネジメント方針 成果報告書」、及び「平成 25 年度 部局マネジメント方針」をご覧ください。

なお、平成 24 年度成果報告書及び平成 25 年度方針は、市ホームページに掲載しているほか、公民館、図書館、総合支所振興課、情報公開・法令審査課、総合政策室、市民相談室でもご覧いただけます。

<対象部局名>

特命幹、都市戦略部、総務部、財政部、市民生活部、福祉保健部、
商工労働部、農林水産部、建設部、下水道部、工事・会計管理部、
消防局、企業局、教育委員会

【問い合わせ先】

総務部 総合政策室 TEL(20)5283





FAX(20)5768

担当：高崎、藤田

◆平成24年度 部局マネジメント方針の達成度について

【全体の達成度】 65% (快晴+晴れ+くもり)の項目数/全項目数

<部局毎>

部局名	項目数		(快晴)		(晴れ)		(くもり)		(雨)
都市戦略部	17	0	0%	8	47%	1	6%	8	47%
総務部	22	2	9%	14	64%	0	0%	6	27%
財政部	6	1	17%	2	33%	1	17%	2	33%
市民生活部	17	0	0%	8	47%	0	0%	9	53%
福祉保健部	26	1	4%	16	62%	1	4%	8	31%
商工労働部	17	0	0%	10	59%	0	0%	7	41%
農林水産部	21	1	5%	4	19%	1	5%	15	71%
建設部	18	1	6%	12	67%	1	6%	4	22%
下水道部	9	0	0%	5	56%	2	22%	2	22%
工事・会計管理部	4	0	0%	4	100%	0	0%	0	0%
消防局	11	0	0%	8	73%	2	18%	1	9%
企業局	14	0	0%	10	71%	1	7%	3	21%
教育委員会	39	0	0%	25	64%	1	3%	13	33%
計	221	6	3%	126	57%	11	5%	78	35%





<過去の達成度>

全体の達成度

平成23年度	198	10	5%	115	58%	6	3%	67	34%	66%
平成22年度	190	7	4%	101	53%	11	6%	71	37%	63%
平成21年度	179	4	2%	93	52%	20	11%	62	35%	65%

<達成度の評価基準>

達成度は、その達成状況をわかりやすく表現するため、「快晴」「晴れ」「くもり」「雨」の4種類の記号にしています。

快晴	晴れ	くもり	雨
			
指標を達成できたもののうち、特に成果があったもの	数値指標をすべてクリアし行動目標を達成したものの	行動目標をおおむね達成したもの(期限、数値指標など)	今年度に達成できなかったもの

◆平成25年度 部局マネジメント方針の項目数について

	部局名	25年度 項目数	24年度 項目数	23年度 項目数	22年度 項目数	21年度 項目数
1	特命幹	10	—	21 12(都市戦略部との重複項目)※ 9(商工労働部との重複項目)※	—	—
2	都市戦略部	19	17	15	15	17
3	総務部	19	22	16	18	15
4	財政部	6	6	7	6	6
5	市民生活部	15	17	17	15	16
6	福祉保健部	26	26	19	18	14
7	商工労働部	17	17	20	20	19
8	農林水産部	20	21	18	20	18
9	建設部	18	18	20	19	20
10	下水道部	10	9	9	6	4
11	工事・会計管理部	4	4	4	3	2
12	消防局	11	11	10	10	12
13	企業局	11	14	16	13	11
14	教育委員会	38	39	27	27	25
	合計	224	221	198	190	179

平成24年度部局マネジメント方針 成果報告書について

平成24年度部局マネジメント方針の成果としては、221項目のうち達成できたのは143項目でした。その達成率は65%であり、昨年度の66%より1ポイント下回りました。

成果を上げられた部局としては、総務部、建設部、消防局、企業局、思った成果を上げられなかった部局としては、都市戦略部、市民生活部、農林水産部があります。

成果を上げられた主な要因としては、

- 総務部では、「2 環境にやさしいまちづくりの推進」において、地球温暖化や原子力発電所操業停止によって自治会の節電意識が高まったことから防犯灯のLED化支援件数が目標を大きく上回り、「8 市政出前講座の開催」においては各種団体に対しPRとチラシの配布等を積極的に行った結果目標の倍以上の開催回数を達成するなど、大幅に目標を上回ったものがあり、その他14項目においても目標を達成しました。
- 建設部では、13項目において目標が達成され、「13 屋外広告物許可更新手続等の改善等による安全な道路環境の確保」においては屋外広告物パトロールを頻繁に実施することや安全点検報告書の提出を受けて危険箇所を確認することによって災害に強く安全安心な地域社会づくりに努めました。
- 消防局では、「1 住宅防火対策の推進」において自治会を対象とした防火教室などの各種活動に尽力した結果火災発生件数を目標値以下に抑制するなど8項目で目標を達成することができました。
- 企業局では、「11 水道モニター制度の導入」において、市民の理解と関心を深めるとともに意見を事業に反映させるため水道モニター制度を導入し、信頼される水道事業運営を図るなど、10の項目で目標を達成しました。

思った成果が上げられなかった主な要因としては、

- 都市戦略部では、「4 起業家への支援等による来街者の増加」について、新規開業店舗は多かったがそれ以上に廃業する店舗が多かったことにより、空き店舗率が上がってしまったなど、8項目で目標を達成できませんでした。
- 市民生活部では、「13 地球温暖化防止に向けた取組の推進」で原子力発電の停止により大幅に温室効果ガスが増加したりするなど社会情勢に影響を受けたこともあり、9項目で目標達成できませんでした。
- 農林水産部では、「14 漁業生産の基盤づくり」で波浪の影響により漁港の整備工事の進捗が遅れるなど天候に起因したものや、「12 適正な森林管理の推進」で国の方針の影響を受けたものなど、15項目で目標を達成できませんでした。

以上のようなことが要因としてあげられます。

平成25年度部局マネジメント方針について

平成25年度部局マネジメント方針としては、昨年度達成できなかった項目について、達成できなかった要因をしっかりと分析し、課題解決を図った上で、引き続き取り組み、達成に努めます。

「安全・安心」を基本とした項目・目標設定としており、数値目標については、より早期の方針決定や、昨年度大幅に増加したものはその維持に努めるなど、より高いものを目指します。今年度は、まちづくり全般について部局横断的に施策を推進する特命幹マネジメントが加わり、昨年度より3項目多い224項目を定めました。

主な内容としては、

- 特命幹は、県都福井市の活力・魅力を高めるよう、中・長期的な展望を持ちつつ、喫緊の課題に対してはスピード感を重視し、まちづくり全般について部局横断的に施策を推進します。
- 都市戦略部では、「1 福井駅周辺における市街地整備の推進」において、県都の顔となる福井駅周辺整備のため、10月には西口再開発ビル建築工事に着工します。また、「15 北陸新幹線の建設促進」において、敦賀まで認可・着工された北陸新幹線の早期整備を進めるために関係機関と連携を図りながら、事業の進捗について地元の方々の理解と協力が得られるよう取り組んでいきます。
- 総務部では、「14 津波避難路整備計画の策定等」において、ハザードマップで課題となった地域の津波避難路整備計画の策定を行い、建設部と連携して津波避難路を整備します。また、「18 老朽危険空き家等への適正管理の促進」において、市民の生命、身体及び財産の保護並びに良好な生活環境を保全するため、市民に対して空き家の適正な管理について周知するとともに、老朽危険化したものについて速やかに対処するよう助言・指導します。
- 市民生活部では、「8 市民サービス向上の推進」において、コンビニエンスストアでの各種証明書交付に向けたシステム構築に着手し市民の利便性の向上を図ります。また、「12 地球温暖化防止に向けた取組」において、住宅向け太陽光発電設備の導入支援や市有地を活用した太陽光発電の設置を図るとともに、市内10箇所ですべて自由に電動自転車を借用返却できるサイクルシェア社会実験を実施します。
- 福祉保健部では、「5 子ども・子育て支援新制度に向けた事業の推進」において、平成26年度策定の「福井市子ども・子育て支援事業計画（仮称）」に保護者等の意見を反映するため教育委員会とも連携しニーズ調査を実施します。また、「8 救急医療の提供」において、季節性インフルエンザ等の感染症に対応するため、感染症患者用待合室及び診察室を休日急患センター及びこども急患センターに増築します。
- 商工労働部では、北陸新幹線金沢開業を見据え、福井の知名度・イメージアップを図るため「一乗谷」、「まちなか」、「越前海岸」の魅力向上に取り組むとともに、一度訪れた方がリピーターとなってもらえるように、福井ならではのおもてなしサービスの充実を図っていきます。
- 農林水産部では、「3 付加価値の高い農作物の生産拡大」において、消費者から選ばれるおいしい福井米づくりを推進するとともに、安心・安全で、良質な農産物を生産・供給するため、エコ農業等に取り組む農業者を支援します。また、「7 6次産業化の推進」において、農林漁業者の経営の多角化・安定化を図るため、6次産業化を推進する目的で、研修会の開催等きめ細かいサポートを行い、農林漁業者自らが行う加工品開発への支援を実施します。

- 建設部では、「15 安全・安心な公園利用の促進」において、平成30年の福井国体を見据えて福井市総合運動公園の平成27年度完成を目指します。また、「16 まちなか居住の促進」において、まちなか地区の人口減少に歯止めをかけて居住促進を行うため、まちなか住まい支援事業を実施します。
- 下水道部では、「5 浸水常襲地区の雨水対策事業推進」において、近年頻発する局地的集中豪雨に対応するため、道路冠水が起りやすい箇所の雨水対策事業について、雨水対策室を中心に、建設部等関係部局と連携して進めます。また、「9 消化ガス発電施設の整備」において、下水汚泥から発生する消化ガスを利用した発電施設の2月完成を目指します。
- 消防局では、「3 事業体における自衛消防組織の育成強化」において、本年度新たに認知症高齢者グループホームなどの小規模社会福祉施設で現地研修を行い、防火管理及び保安管理に対する意識の高揚と自衛消防組織の育成を図ります。また、「9 中消防署の建設事業」において、新庁舎の1月完成を目指します。
- 企業局では、災害に強いライフライン確保のためハード面では「1 耐震化対策としてのガス導管の布設替え」や「4 災害に強い水道施設の構築」や「5 基幹管路の耐震化」など、施設の耐震化対策を進めます。ソフト面では、「2 お客様の生命と財産の保安確保強化」や「9 災害に迅速に対応するための防災訓練の実施」を通じて、市民の安全・安心のため関連団体等と連携した各種災害想定訓練を実施します。
- 教育委員会では、「9 学校施設改修の実施」において、校舎や体育館の耐震化を進めるとともに、暑さ対策事業では、残る小学校、幼稚園の普通教室へのエアコン設置を完了させ、良好な学習環境の整備に取り組みます。また、「28 福井国体の開催準備」において、国体準備委員会の設置及び開催方針の決定について8月を目指して進めていきます。加えて、「38 自然史博物館企画展の開催と分館の整備」において、天文分野を中心とした自然科学教育の推進と、中心市街地のにぎわいと交流を目的に、福井駅西口再開発ビル内に自然史博物館分館の整備を進めます。